

読みたい聴きたい

福岡市内の書店『ブックスキューブリック』のオーナー・大井実さんに、毎回テーマに沿った本と音楽を紹介していただきます。ジャンルを超えて楽しめる作品にぜひ、触れてみてください。

撮影/スタジオパッション

ココロに、 ウツクシク

(余韻を感じる作品)

読書の秋です。みなさんは、どんな本を読まれていますか。今回ご紹介するのは、「震災は忘れたころにやって来る」という言葉を残した物理学者・寺田寅彦の随筆集『柿の種』。彼は、学者の傍ら俳句や随筆も手掛け、文学にも非常に造詣が深く、夏目漱石の弟子としても知られています。

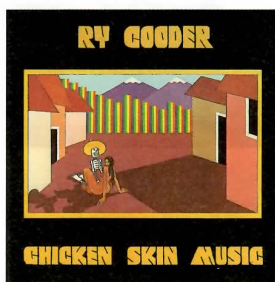
「科学者の作品」と聞くと難しい印象があるかもしれませんが。しかし彼の随筆は、とても優しい言葉で書かれていて、親しみやすいものばかりです。ささやかな暮らしや自然を愛する一人の人間として、家族と交わす何気ない会話、すれ違う人々のやり取り、街に溢れている瑞々しい草木や花々などの様子……。目に映るものももちろん、捉えにくい人の心の動きまでも細やかに描写している彼の文章には、学者ならではの観察力や探求心が生かされているのも確か。そんな名文に触れていると、大事なことは、何気なく過ごしている毎日の中にこそ溢れていると改めて気づくのです。

一節一節を読み終えるたびに、心にぽつと火を灯したような温かさや、時に切なさを感じる彼の随筆。本人も自序で「なるべく心の忙しくない、ゆつくりした余裕のある時に、一節ずつ間をおいて読んでもらいたい」と書いているように、作品ひとつひとつから感じる余韻を味わってもらいたい本です。短編集になっていたので、ページをパラパラとめくり、好きなどころから読めるのも魅力だと思います。

そして音楽は、ライ・クーダーというギタリストの一枚。天才的なギターテクニクをもつ彼は、特にガラスや金属製の棒で弦に触れて音を出す演奏法、スライドギターの名手です。心の底からにじみ出るような深い響きがある彼の音色は、とても心地よく、演奏が終わってもなお、その余韻が残ります。ロックやブルースなど様々なジャンルを奏する彼の作品の中でも、ハワイアンやメキシカンテイストが強いこのアルバムは、スライドギターの表現力に磨きがかかった、代表作ではないでしょうか。



ワイド版岩波文庫『柿の種』
寺田寅彦
岩波書店
1,260円(税込)



『チキン・スキン・ミュージック』
ライ・クーダー
発売元/ワーナーミュージック・ジャパン
1,800円(税込)
WPCR-75427

■ 大井実さん
話題の一冊から普遍的な作品を揃える福岡市内の書店「ブックスキューブリック」のオーナー。10月には第二店舗もオープン。本を読みながらお茶を楽しめるカフェスペースも併設しているそうです。
ブックスキューブリック
福岡市中央区赤坂2-1-12 ネオグランデ赤坂1階
☎092-711-1180 <http://www.bookskubrick.jp>

穏やかな気持ちになれる秋なので、言葉や音の響きがじんわり心に残る作品を選びました。

